

令和7年10月17日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件6 福島町社会福祉協議会の運営状況について

町 民 課

調査事件 6 福島町社会福祉協議会の運営状況について

1 社会福祉協議会に対する支援について

町では、福島町社会福祉協議会の経営健全化計画を支援するため、令和2年度から社会福祉協議会の基盤となる法人運営事業に対し、財源不足相当分の支援として9百万円の補助を行い、令和6年度からは新たに同協議会へ人的支援として職員（事務局長職）を派遣し、補助金を減額し現在は7百万円の補助を行っております。

社会福祉協議会の本来的な役割として、地域の社会福祉活動の推進、向上を目的としており行政の福祉活動の補完的役割を担う重要な組織であり、将来的に事業運営を継続維持する観点から安定的な財政運営が必要であるため、令和7年3月に策定しました第2期経営健全化計画（令和7年度から11年度まで）に基づき、引き続き法人運営事業の安定運営を目的に支援してまいります。

2 令和6年度の職員配置の状況について

社会福祉協議会の職員配置については、令和6年度は新たにパート職員として介護職員2名、学校支援担当職員1名、訪問調査担当職員1名の計4名を採用し事業運営を展開しております。

(単位：人)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
正 職 員	事 務 職	3	3	0
	ケアマネジャー	1	1	0
	介 護 職	1	1	0
臨 時 職 員	介 護 職	3	3	0
	事 務 職	1	1	0
	福祉センター	2	2	0
パート職員	介 護 職	3	1	2
	学校支援	3	2	1
	訪問調査	2	1	1
	福祉センター	1	1	0
合 計		20	16	4

3 令和6年度決算の状況について

社会福祉協議会の経営体系は、法人運営事業及び町受託事業並びに介護保険事業の3本の事業で構成されており、令和6年度の決算状況は、以下の表のとおりとなっております。なお、収支の内訳につきましては、別冊「令和6年度福島町社会福祉協議会決算書」に記載しております。

(1) 法人運営事業

社会福祉協議会の本来業務である法人運営事業では、町職員の派遣に伴う町補助金収入や、人件費の減少などにより、収入、支出ともに前年度より減少しておりますが、前年度に引き続き2,633千円の黒字を計上しており、安定的な運営が保たれております。

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
法人運営	収 入	13,624	15,210	▲ 1,586
	支 出	10,991	13,908	▲ 2,917
	差 額	2,633	1,302	1,331

(2) 町受託事業

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
福祉センター 管理事業	収 入	6,747	6,488	259
	支 出	6,431	5,867	564
	差 額	316	621	▲ 305
安心生活 創造事業	収 入	5,898	5,651	247
	支 出	5,821	4,857	964
	差 額	77	794	▲ 717
合 計	収 入	12,645	12,139	506
	支 出	12,252	10,724	1,528
	差 額	393	1,415	▲ 1,022

(3) 介護保険事業

介護保険事業全般においては、施設入所や高齢対象者の逝去に伴う利用者の減少により令和4年度以降、介護保険事業収入の減収が続いておりましたが、令和6年度は、訪問介護事業及び訪問入浴介護事業が増加に転じております。

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
訪問介護事業	収 入	22,134	19,808	2,326
	支 出	19,328	16,547	2,781
	差 額	2,806	3,261	▲ 455
訪問入浴 介護事業	収 入	5,589	3,889	1,700
	支 出	4,943	3,889	1,054
	差 額	646	0	646
居宅介護 支援事業	収 入	3,110	4,373	▲ 1,263
	支 出	4,522	4,518	4
	差 額	▲ 1,412	▲ 145	▲ 1,267
合 計	収 入	30,833	28,070	2,763
	支 出	28,793	24,954	3,839
	差 額	2,040	3,116	▲ 1,076

(4) 社会福祉協議会全事業

社会福祉協議会全体事業では、経営健全化計画以前は厳しい状況が続いておりましたが、町の財政的な支援及び同協議会の健全化も相まって、令和2年度以降は、収支黒字が続いており、昨年度の収支においても約5百万円の黒字を計上しております。

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
法人運営事業	収 入	13,624	15,210	▲ 1,586
	支 出	10,991	13,908	▲ 2,917
	差 額	2,633	1,302	1,331
町受託事業	収 入	12,645	12,139	506
	支 出	12,252	10,724	1,528
	差 額	393	1,415	▲ 1,022
介護保険事業	収 入	30,833	28,070	2,763
	支 出	28,793	24,954	3,839
	差 額	2,040	3,116	▲ 1,076
合 計	収 入	57,102	55,419	1,683
	支 出	52,036	49,586	2,450
	差 額	5,066	5,833	▲ 767

●過去5か年の収支状況

(単位：千円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
法人部門	収入	22,166	23,140	24,438	27,349	26,269
	支出	22,875	21,997	21,762	24,632	23,243
	差額	▲709	1,143	2,676	2,717	3,026
介護部門	収入	48,240	38,782	32,759	28,070	30,833
	支出	44,649	36,578	30,409	24,954	28,793
	差額	3,591	2,204	2,350	3,116	2,040
合 計	収入	70,406	61,922	57,197	55,419	57,102
	支出	67,524	58,575	52,171	49,586	52,036
	差額	2,882	3,347	5,026	5,833	5,066

*法人部門の金額は、法人運営事業と町受託事業を合算しております。

4 積立金の状況について

令和6年度において、ヘルパー活動車3台の更新費用として、固定資産取得積立金から952千円を取り崩しており、令和6年度末現在の積立金合計額は12,893千円となっております。

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
基 本 財 産	1,000	1,000	0
固定資産取得積立金	1,741	2,693	▲ 952
職員退職積立金	1,959	1,959	0
財政調整基金	8,193	8,193	0
合 計	12,893	13,845	▲ 952

5 経営健全化計画との比較について

社会福祉協議会では経営の健全化を図る目的で、経営健全化計画を策定しており、令和6年度計画額との比較では、全体で8,456千円の増となっており、経営の改善が図られております。

なお、各事業の対比につきましては、次の表のとおりです。

(単位：千円)

区 分		令和6年度		増 減
		経営健全化 計 画 額	決 算 額	
法人運営	収 入	10,400	13,624	3,224
	支 出	11,800	10,991	▲ 809
	差 額	▲ 1,400	2,633	4,033
福祉センター 管理事業	収 入	5,937	6,747	810
	支 出	5,937	6,431	494
	差 額	0	316	316
安心生活 創造事業	収 入	5,150	5,898	748
	支 出	5,150	5,821	671
	差 額	0	77	77
訪問介護事業	収 入	24,000	22,134	▲ 1,866
	支 出	24,300	19,328	▲ 4,972
	差 額	▲ 300	2,806	3,106
訪問入浴 介護事業	収 入	7,710	5,589	▲ 2,121
	支 出	7,500	4,943	▲ 2,557
	差 額	210	646	436
居宅介護 支援事業	収 入	6,000	3,110	▲ 2,890
	支 出	7,900	4,522	▲ 3,378
	差 額	▲ 1,900	▲ 1,412	488
合 計	収 入	59,197	57,102	▲ 2,095
	支 出	62,587	52,036	▲ 10,551
	差 額	▲ 3,390	5,066	8,456

6 第2期福島町社会福祉協議会経営健全化計画について

第1期計画（令和2～6年度）においては、法人等の賛助会費拡大に努めるとともに、令和5年度から千軒地区デマンド型交通運行事業を受託し、経営の改善が図られております。

なお、第1期計画が令和6年度をもって終了となることから社会福祉協議会では、第1期計画の実績及び検証をもとに、更なる経営健全化を推進するため、第2期計画（令和7～11年度）を策定しております。

(1) 職員体制について

第1期の実績を勘案するとともに、世代交代も見据えながら若手職員の採用・育成に努め、持続可能な事業運営を展開します。

(単位：人)

区 分		令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
正 職 員	事 務 職	3	3	3	3	3
	ケアマネジャー	1	1	1	1	1
	介 護 職	1	1	1	1	1
臨 時 職 員	介 護 職	4	4	4	3	3
	事 務 職	1	1	1	1	1
	福祉センター	2	2	2	2	2
パート職員	介 護 職	4	4	4	4	4
	学校支援	1	1	1	1	1
	訪問調査	2	2	2	2	2
	福祉センター	1	1	1	1	1
合 計		20	20	20	19	19

(2) 年度別収支計画について

(単位：千円)

区 分		令 和 7年度	令 和 8年度	令 和 9年度	令 和 10年度	令 和 11年度
法人運営 事業	収 入	13,601	13,600	13,600	13,700	13,700
	支 出	11,668	11,400	11,600	11,800	12,000
	差 額	1,933	2,200	2,000	1,900	1,700
福祉センター 管理事業	収 入	7,200	7,300	7,300	7,400	7,400
	支 出	6,949	7,000	7,000	7,100	7,100
	差 額	251	300	300	300	300
安心生活 創造事業	収 入	5,968	5,970	5,980	6,000	6,000
	支 出	5,968	5,970	5,980	6,000	6,000
	差 額	0	0	0	0	0
訪問介護 事業	収 入	16,298	18,300	19,600	19,000	18,800
	支 出	18,091	18,100	19,300	18,000	18,360
	差 額	▲1,793	200	300	1,000	440
訪問入浴 介護事業	収 入	5,510	5,400	5,500	5,400	5,400
	支 出	5,784	5,280	5,380	5,300	5,300
	差 額	▲274	120	120	100	100
居宅介護 支援事業	収 入	3,300	3,000	3,100	3,100	3,000
	支 出	4,911	4,840	4,980	5,080	5,180
	差 額	▲1,611	▲1,840	▲1,880	▲1,980	▲2,180
合 計	収 入	51,877	53,570	55,080	54,600	54,300
	支 出	53,371	52,590	54,240	53,280	53,940
	差 額	▲1,494	980	840	1,320	360

7 町の今後の支援の在り方について

社会福祉協議会は、「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を組織理念に掲げ、社会福祉活動を推進する法人として大切な役割を担っており、地域に欠かすことのできない組織です。

町では、町づくりの基本としている「福祉・医療が充実し、互いを認め合えるまちづくり」の実現を目指す観点から、福祉のまちづくりにおける福祉サービスや相談活動など、様々な場面で地域福祉の一翼を担っている本法人の継続的維持が重要と考えております。

社会福祉協議会の存続が地域福祉の向上に寄与するものであり、今後も継続的に現行の補助体系を維持し、次年度以降も法人運営事業に対して、現行の支援体制を継続してまいります。